



2/1 こども園で節分 怖い「鬼」が登場

認定こども園ほろんにて節分が行われ、町内の有志団体「Free flight (フリーフライト)」のメンバーが鬼に扮し、子どもたちの前に登場しました。

あまりの怖さに、泣き出し、逃げ出す子どもの姿も見られるなど、園内は大騒ぎになりました。

参加した子どもからは「鬼が怖くて豆を投げられなかったよ」などの感想が聞かれました。



1/19 こども冬まつり開催

幼児と小中学生を対象にした、こども冬まつりが認定こども園北側空地にて開催され、221人の子どもが参加しました。

参加した子どもたちは、おかし蒔きや熱気球のゴンドラからマーカーを的に向けて投げるゲームや、スノーラフティング、高所作業車体験搭乗などを楽しんだほか、無料で振る舞われた豚丼やラーメンなどに舌鼓をうち、冬を楽しみました。

2/4 幻想的なアイスクャンドル

特別養護老人ホームすずらん荘の前に約600個のアイスクャンドルが並びました。

アイスクャンドルは「ほっこり仲間の会」のメンバーを中心とした実行委員が企画し、製作を行いました。この日は、5時頃からキャンドルに火を灯し、施設利用者は窓越しにキャンドルの光を楽しみました。

林亮一実行委員長は「今年は雪が少なく、苦労したが、3年目を迎え作業はスムーズだった。利用者が楽しんでくれれば」と話されていました。



1/23 高齢者と中学生が交流 ひとり暮らし高齢者親睦会

山村開発センターにて、社会福祉協議会主催のひとり暮らしの高齢者を対象にした「一人暮らし高齢者親睦会」が開催され、およそ130名が参加しました。

この日は、上士幌中学校の1年生が当日の運営に協力し、合唱を披露したほか、サクソ奏者による演奏を聞きながら会食を行うなど、参加者同士で交流を深めました。



地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 日々の取り組み

記: 自然館学芸推進員 山田 太平



ひがし大雪自然館で勤務を始めてもうすぐ半年になります。紅葉やアイスパブルなど、四季によって表情を変える自然を楽しみながら日々過ごしています。今年度は、「生体展示」と「調査研究」に特に注力してきました。

生体展示は、フィールドで自ら採集してきた生物を展示しています。生き物が普段暮らしている環境を表現すること、飼育している生き物が不自由なく暮らせることの2点に重点を置いて取り組んでいます。自然や生物について興味を持ってもらうきっかけとなるような展示を目指して、今後も取り組んでいきたいです。

調査研究は、「カワシンジュガイ」という生物に着目して取り組んできました。このあたりでは、カラスガイとも呼ばれているようです。カワシンジュガイはイシガイ目カワシンジュガイ科に属する淡水二枚貝です。かつては広域で見られていたカワシンジュガイですが、河川改修工事等の人為的な影響を強く受けることか

ら、近年は個体数が減少傾向にあり、環境省のレッドリストで絶滅危惧IB類に分類されています。そこで、十勝における現在のカワシンジュガイの分布状況を把握するために調査を行いました。その結果は、3月に発行される「ひがし大雪自然館研究報告」に掲載いたしますので、興味のある方はぜひご一読ください。



▲レッドリストで絶滅危惧IB類の「カワシンジュガイ」



1/24 上士幌産の食材を味わう 小中学校でふるさと給食提供

上士幌産の食材が使われたメニューが提供されたこの日、上士幌小学校5年生の教室に生産者が訪れ、児童と一緒に給食を味わいました。

提供されたメニューは、ビーフシチュー、コッペパン、ミルクジャム、豆サラダなどの6品目。食材は、ノベルズ食品から十勝ハーフ牛と新村牧場からミルクジャム、町内農家の下村さんからジャガイモが提供されました。

給食を食べた児童からは「いつもより豪華でおいしかった」との感想が聞かれました。

役場の新人紹介

(地域おこし協力隊員)

- ◆名前: 浅川 りえ子 (34歳)
- ◆職種: 観光誘客組織づくり推進員 (商工観光課)
- ◆出身地: 山梨県北杜市



上士幌町の皆さま、初めまして。皆さまの笑顔につながるような仕事ができるよう、精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1・2月の
まちのわだい

川柳

年々と勢いを増す豆つぶで
寒波でも家の中では半袖で

石四戸の光父

短歌

「接吻」は道ならぬ恋かこの絵画金色の中愁いのにじむ
運動と食後に行ふ腕伸ばし上げ下げ続けて痛くなりたり
新年に目標掲げ充実し一日一日を大切にしたい
けんさんの図案のとおりさしこする青色の糸でコースター作る
胃の検査受くる台座に渡されし白い液体捧げ飲み干す

石高松鈴米尾 本
川木田木森野 間
裕誠理 真よし 栞
子也 恵豊弓乃 風



○…今月の表紙はウインターバルーンの
一コマです。早朝の一斉離陸を撮影する
ため、朝7時からスタンバイしていましたが、この日は
-20℃を超える記録的寒波により
メガネは凍り、スマートフォンは急
速に電池がなくなっていく事態に。
でも、気球は美しかった!!…M

○ひがし大雪自然館では、一般公開
していない収蔵室などを見学できる
バックヤードツアーや、自然観察会
などを定期的に行っています。今回、
個人的にオジロワシ・オオワシの観
察会に参加してきました。残念ながら
らワシさんはいませんが、吹き
すさび吹雪の糠平湖上に無数のテ
ントが並ぶ様子は、まさに南極の
雄相でした。…T

平成31年 1 月末現在の 人口

男性	2,434人(-7人)
女性	2,556人(-3人)
人口	4,990人(-10人)
世帯数	2,532世帯(-5世帯)

寄付 (2/15まで)

○平成30年5月17日、浅野幸男様が、町の振興のため、10万円を寄付されました。

平成30年度 ふるさと納税寄付金

1 月分	928 件 19,657,000 円
累計	113,713 件 1,944,434,000 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をして
いただき心より感謝を申し上げます。
※2月15日現在

広報かみしほろ 4月号は 3月25日(月) 発行予定

上士幌高校です!

文責: 教頭

TITLE:あと1か月で先輩になります!

1月30日(水)から2月1日(金)まで、2泊3日の日程で1年生の宿泊研修が「ネイパルあしよろ」を主会場として行われました。

初日は進路希望別のグループに分かれ、午前中は帯広畜産大学、帯広大谷短期大学、帯広高等技術専門学院、帯広調理師専門学校、帯広コア専門学校を訪問し、そこで学んだ情報を「ネ

イパルあしよろ」で発表し合いました。

2日目は「ぬかびら源泉郷スキー場」でスキー研修を、3日目は「ネイパルあしよろ」で七宝焼きの創作を行うなど、さまざまな研修を通して、主体性や協調性、気配りや責任感、自己管理など“集団生活で求められる力”と“自己実現のために必要な力”を養いました。



▲畜大に行ってきました



▲学校訪問の発表準備をしています



▲友達との楽しいひととき

上士幌高校新聞局通信



宿泊研修体験記です

文責 加藤 駿

【1日目 上級学校訪問】自分は帯広高等技術専門学院の電気工学科でスイッチの

取り付けと電柱上での高架作業を体験しました。緊張しましたが、どちらも楽しく貴重な体験ができました。

【2日目 スキー学習】天候は晴れでしたが、風が強かったので雪が飛んで来て顔にあたり、それがすごく冷たく感じました。でも自分にとって生まれて初めてのスキーだったので、楽しむことができました。

【3日目 七宝焼き製作】自分は「モンスターボール」のデザインに決めて作りました。小さい部分に色をつけていくのが大変でしたが、上手く作れたので嬉しかったです。本当に色々楽しめた宿泊研修でした。



△高技専発表会の準備(左が加藤)



△モンスターボール制作中です